

based on a novel by Shugoro Yamamoto Film Festival

Shugoro Yamamoto



# 山本周五郎原作 フィルムフェスティバル

- A 春はまた丘へ** 昭和4年(1929)、東京市公算の児童映画脚本に、山本周五郎が金賞を獲得した幻の映画の初公開。東京国立近代美術館フィルムセンターの提供により今回の上映が決定しました。共演に中村英雄、中村政登志、尾上助三郎、無声映画。
- B 無頼無法の徒さぶ** 風雪の十年に華と嘆く鉄腕の友情「さぶ」を原作に小林旭、朝丘ルリ子のコンビで映画化。明治のはじめ、固い友情で結ばれていた男たちが、ふとしたことから憎みあい、その誤解がとけるまでを劇的に描いている。共演に長門裕之、山内幸子、小林千登勢。
- C 五瓣の椿** 白い肌と椿が匂い、鼓が走る!淫蕩な母に裏切られた乙女が、母を殺させ、自らも死亡を偽装する。そして母の浮気相手を手を次々殺し、最後は、一輪の椿を残されている…。同名小説を岩下志麻主演で映画化。共演に田村高廣、穂積隆信、左幸子、加藤剛、小沢昭一。
- D 初笑いびっくり武士道** 「ひとごころ」の映画化。武士道の窮乏な種を皮肉りながら、コント55号の二人がユーモアたっぷりに描いた異色作。薄て一番の難病者に萩本欽一、無双の豪傑に坂上二郎が扮し、果たし合いの結果はいかに?共演に岡崎友枝、榎原みどり、森田健作、嵐寛寿郎、光本幸子。
- E なみだ川** 極道者の兄のために婚約を逃している姉妹。せめて妹だけでも結婚させてやりたしと姉が奮闘するが…。「おたふく物語」の映画化。お人好しの姉に藤村志保、勝負で意地張りの妹に若原雅夫、いらいら姉妹愛が美しく江戸情緒の中に繰られる。共演に船山汎之、藤原藤足。
- F ひとごころ** 同名小説を松田優作主演で描く。福井藩きっての難病侍双子六兵衛が剣の達人を上意討ちせよとの使命を受けた!?六兵衛は相手につかず離れず距離を保つつつ「ひとごころ」と叫び続け、ナイローゼ状態に追い込み目的を果たそうとするが…。共演は高橋洋子、丹波哲郎。
- G 雨あがる** 武芸の達人だが不器用で仕官がかなわない武士、三沢伊兵衛とその妻たよ、折からの豪雨が旅の途にある夫婦を宿場町に足止めさせる…。同名小説を黒澤明が脚色。共演は宮崎美子、三船敏郎、堀みどり、井川比佐志、仲代達矢、日本アカデミー賞最優秀作品賞受賞。

## 山本周五郎の世界展

聴く、観る

曲軒作家生誕100年記念

東京都写真美術館 B1 恵比寿ガーデンプレイス内  
2002年10月25日(金) 11月24日(日)

休館日 毎週月曜日(但し当日祝日の場合は翌日) 開館時間 通常10:00-18:00 ※但し木、金の10:00-20:00  
入場料 一般・大・高校生800円(600円) 65歳以上の方400円(300円) 中学生以下およびお身体に障害をお持ちの方とその介護者は無料。( )内は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会、アトレカード、三越カード会員割引料金。第3水曜日は65歳以上無料(証明できるものをご提示ください)

このへソ曲りな作家は何故、巨匠たちに、大衆に愛されたのだろうか……

日々平安 [椿三十郎] 監督:黒澤明 | 主演:三船敏郎  
ちいさこべ [同上] 監督:田坂具隆 | 主演:中村錦之助  
青べか物語 [同上] 監督:川島雄三 | 主演:森繁久弥  
樅の木は残った [青葉城の鬼] 監督:三隅研次 | 主演:長谷川一夫  
さぶ [無頼無法の徒さぶ] 監督:野村孝 | 主演:小林旭  
なんの花か薫る/つゆのひめま [海は見ていた] 監督:黒澤明 | 主演:清水美砂  
五瓣の椿 [同上] 監督:野村孝 | 主演:若下志麻  
赤ひげ診療譚 [赤ひげ] 監督:黒澤明 | 主演:三船敏郎  
季節のない街 [どすくてん] 監督:黒澤明 | 主演:藤原佳子  
雨あがる [同上] 監督:小泉虎史 | 主演:寺尾聰  
町奉行日記 [どら平太] 監督:市川崑 | 主演:役所広司  
かあちゃん [同上] 監督:市川崑 | 主演:岸恵子  
原作:映画化名、監督:主演の順で



東京都写真美術館 B1 恵比寿ガーデンプレイス内  
2002年10月25日(金) 11月24日(日)

## 聴く、観る 山本周五郎の世界展

曲軒作家生誕100年記念

ヘソ曲り作家・山本周五郎は、何故、巨匠達に、大衆に愛されたのだろうか……。黒澤明、小林正樹、市川崑に愛され「樅の木は残った」や「赤ひげ診療譚」で知られる小説家・山本周五郎は、2003年6月に生誕100年を迎えます。周五郎が最も輝いた昭和30～40年代は、便利な道具に囲まれることこそ「豊かな生活」であると多くの日本人が信じた高度成長期時代でした。そんな時代、周五郎は朋友の尾崎士郎から「曲軒」(ヘソ曲り)と呼ばれていたとあり、世の中を人より一寸五分曲げてみつつ、「近代化にとって邪魔」と追いやられていく「優しさ」や「思いやり」そして「信頼」といった“心”のテーマを江戸庶民の生活に写し、多くの読者を揺さぶりました。

今日、「豊かな生活」が当たり前になった反面、人間関係は希薄になり、人々の“心”には痛みや綻びが生じる物悲しい時代となりました。「聴く、観る・山本周五郎の世界」展は、周五郎の遺した“心”をひとりでも多くの方に触れていただくこと(原作:山本周五郎)にスポットをあて構成致しました。過去に放送されたラジオやテレビドラマ、映画などを一堂に集めて「聴いたり」「観たり」できる場をつくり、見終わったあとで、あたたかい気持ちになれるような生誕百年展になればという願いを込めてお贈り致します。なお、当企画はこの趣旨にご賛同いただいた出版・放送界、映画・演劇界の協力を得て開催される運びとなりました。

### [1] 曲軒作家山本周五郎

**\*素顔の周五郎**  
写真家、秋山吉徳氏、林忠彦氏による貴重な生前の写真正と、最愛の人“きん夫人”のエッセイによる、周五郎ヘソ曲り人生の足跡。

**\*孤高の大衆文豪周五郎**  
文壇での名声ではなく、庶民と共に生きた作家、周五郎文学の作品にまつわる品々、映画・舞台など数々の資料を展示。



**交遊酒徒番附**

氏名	関係	関係
高倉健	1968年11月	主演
小林旭	1973年2月	主演
中村錦之助	1974年9月	主演
吉永小百合	1980年1月	主演
十朱幸代	1980年1月	主演
大原麗子	1983年3月	主演

▲文壇酒徒番附  
周五郎は樅の椿、井伏鱒二、井上靖、増一などの名が連なっている。

### [2] 周五郎原作の世界

- \*朗読の部屋……名作短編を聴く**  
周五郎名作短編を名優たちが語り部として収録されたテープを聴く。
- 「草は見ていた」朗読:江守徹
  - 「雨あがる」朗読:田下武史
  - 「樅の木は残った」朗読:佐藤慶
  - 「ちゃん」朗読:名古屋章
  - 「将監さまの御みち」朗読:長山藍子
  - 「あだこ」朗読:長内美那子 他
- \*なつかしの周五郎アワー……名作を聴く・聴く**
- テレビ「東芝日曜劇場」
  - 「初音」主演:いしだあゆみ 1973年2月
  - 「ちゃん」主演:中村錦之助 1974年9月
  - 「不斬草」主演:吉永小百合 1980年1月
  - 「山崎」主演:十朱幸代 1980年1月
  - 「三十ふり袖」主演:大原麗子 1983年3月
- ※TBS 月井ふく子事務所提供
- ラジオドラマ「晩秋」  
出演:高倉健 鶴田真由 他  
※高倉健1998年の途中〜1999年放送提供
- \*「お便りがどう」……周五郎の肉声を聴く**  
○読者から寄せられた手紙に周五郎が応えに答える唯一の肉声。  
※「お便りがどう」文化放送提供

### \*周五郎原作映画リスト

題名	原作	公開年	製作会社	監督	主演
春はまた丘へ	春はまた丘へ	1929	東京市・日活	長谷川一夫	伏見信子
無頼無法の徒さぶ	無頼無法の徒さぶ	1933.12	新東宝	中村錦之助	大谷日出夫
青べか物語	青べか物語	1936.23	日活	田坂具隆	中村錦之助
樅の木は残った	樅の木は残った	1937.1	東宝	三隅研次	長谷川一夫
さぶ	さぶ	1937.11	東宝	黒澤明	小林旭
なんの花か薫る	なんの花か薫る	1937.10	東宝	黒澤明	清水美砂
五瓣の椿	五瓣の椿	1937.10	東宝	黒澤明	若下志麻
赤ひげ診療譚	赤ひげ診療譚	1938.10	東宝	黒澤明	三船敏郎
季節のない街	季節のない街	1938.10	東宝	黒澤明	藤原佳子
雨あがる	雨あがる	1938.10	東宝	黒澤明	寺尾聰
町奉行日記	町奉行日記	1938.10	東宝	市川崑	役所広司
かあちゃん	かあちゃん	1938.10	東宝	市川崑	岸恵子
海は見ていた	海は見ていた	1938.10	東宝	黒澤明	清水美砂
SAFU-さぶ	さぶ	1938.10	東宝	黒澤明	小林旭



平成15年1月2日~27日  
新橋演舞場で上演決定。

山本周五郎 原作  
ジェームス三木 脚本・演出

おたふく  
波乃久里子  
寺島しのぶ  
藤原聖人  
市川染五郎

製作 松竹  
◆脚本 12,600円  
◆演出 12,600円  
◆衣装 4,200円  
◆美術 4,200円  
◆音響 13,600円

新橋演舞場

東京都写真美術館 B1F 恵比寿ガーデンプレイス内  
http://www.tokyo-photo-museum.or.jp

2002年10月25日(金) 11月24日(日)

休館日 毎週月曜日(但し当日祝日の場合は翌日) 開館時間 通常10:00-18:00 ※但し木、金の10:00-20:00  
入場料 一般・大・高校生800円(600円) 65歳以上の方400円(300円) 中学生以下およびお身体に障害をお持ちの方とその介護者は無料。( )内は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会、アトレカード、三越カード会員割引料金。第3水曜日は65歳以上無料(証明できるものをご提示ください)